



臼杵・深江 県道沿いの擁壁

①リュウグウノツカイの横に「コロナにまけるな」などのメッセージが添えられている②一夜にして現れたアマビエの巨大アート。高さ約6m「臼杵市深江」



巨大アマビエ コケアート

【臼杵】臼杵市深江で県道沿いの擁壁にコケを削って描かれた妖怪「アマビエ」がお目見えした。高さから以上もある突然の巨大アートに地域住民はびっくり。新型コロナウイルスの早期収束と地域へのエネルギーが込められた作品は、SNS（賞賛交流サイト）上で広まり話題となっている。

新型 コロナ
描かれているのは疫病を払うとされる「アマビエ」（縦 横約6m）と「リュウグウノツカイ」（縦約3m、横約5m）。

「手洗いうがいを忘れずにコロナに負けるな」「ファイト」などのメッセージを添えている。住民にまよなく、8日朝に気付いたという。仕掛け人は上浦・深江振興協議会の薬師寺正治会長

**地元振興協「早く日常に」願い
一晩で制作**

2020年6月14日付 大分合同新聞 14面

（画像をカラー処理しています）

臼杵市深江で県道沿いの擁壁にコケを削って描かれた妖怪「アマビエ」がお目見えしました。

①描かれているアマビエとリュウグウノツカイの大きさは？どんなメッセージが添えられていますか？

アマビエが縦、横約6m、リュウグウノツカイが縦約3m、横約5m。添えられているメッセージは「手洗いうがいを忘れずにコロナに負けるな」「ファイト」など。

②描く作業はどのような方法で行われましたか？

仕掛け人である上浦・深江振興協議会の薬師寺正治会長（68）が仲間に協力を呼び掛け、10人で作業。プロジェクターで壁に図柄を投影しながらコケを削り取り、1時間半ほどで仕上げた。

③薬師寺さんがこの巨大アートに込めた思いは何ですか？

「一日も早く日常が戻るよう願いを込めた。作品を通して地域を元気づけたい」

④絵を見た地域の人は何と感じていますか？

「コケで絵を描くという発想に驚いた。地域が明るくなりますね」